

令和6年度1学期始業式「式辞」

おはようございます。校長の川崎芳徳です。

また、この場所で、元気な皆さんと再会できましたこと、大変嬉しく思っています。今年度もよろしく願います。

令和6年度1学期のスタートにあたり、一言、ごあいさつを述べさせていただきます。

皆さん、いよいよ学年が一つ上がりましたね。17期生は6年次最高学年、ラスト1年です。自己実現に向かい躍動してくださいね。18期生5年次は、ニュージーランド研修旅行が待っています。楽しみですね。19期生4年次は、先日の修了式で義務教育終了です。後期生として、自ら考え行動を選択できる力を獲得してくださいね。20期生3年生は、1ヶ月後に沖縄修学旅行です。こちらも楽しみですね。21期生2年生は、本日午後に、後輩80名が入学してきます。これもまた楽しみですね。

どうか皆さん、仲良く、互いに「思いやりの心」を忘れず、しっかり「知・好・楽」…何事も、ただ知っているだけより、それを好きな人にはかなわない、いやいや好きな人よりも、それを楽しんで取り組んでいる人にはかなわない」…孔子の教えでしたね。ストレスをも含めて楽しめているとき、最高のパフォーマンスが生まれ、その間、皆さんは大きく成長するのです。しっかり楽しみ…「楽力」を身につけて、充実の時間を過ごしてください。

今日は、新年度初日、クラス替えも行われますので、1年ぶりに「旅人の話」というお話をさせていただきます。1年前のお話を覚えている人?…若干名ですね…ありがとうございます。

ある町がありました。一人の旅人がその町にやってきました。

町の入口の門のところに一人の老人が座っていました。

旅人は老人に聞きます。

「おじいさん、この町はどんな町？」

すると、逆におじいさんは旅人に聞きます。

「あなたが、いままでいた町はどんな町でしたか？」

旅人は答えました。

「いやあ、前にいた町は嫌な人ばかりで、ろくな町じゃなかったよ」

それを聞いたおじいさんは旅人に言います。

「そうですか、この町もあなたが前にいた町と同じ町です」

また別の日に、違う旅人が来ました。

旅人が老人に聞きます。

「おじいさん、この町はいったいどんな町ですか？」

逆に、おじいさんは旅人に聞きます。

「あなたが、これまでいた町はどんな町でしたか？」

旅人は答えました。

「私がこれまでにいた町は、すばらしい町で、人々は親切で、あんなによい町はありませんでした」

それを聞いたおじいさんは旅人に言います。

「そうですか、この町もあなたが前にいた町と同じ町です」

さあ、皆さん、どんな感想を持たれましたか。これは、“心の持ち方”“考え方”が、いかに大切かを考えさせられるお話です。

周囲の人に対し、自分が置かれている環境に対し、自らを振り返ることなく、常に不平不満を口にし、取り組まなければならないことをおろそかにする人、逆に、周囲の人や自分が置かれた今の環境に「感謝」の心を持ち、うまくいかない時は自らを反省しながら、やるべきことを誠実に継続する人…この違いが続くと、歩む人生に大きな差が生じます。

新年度は、新しいクラスです。「前のクラス、どんなクラスだった？」こんなやりとりがあるかもしれません。いつも、皆が楽しく過ごせ、活気あるクラスにするよう努めている人は、「いい友達ばかりで素晴らしいクラスだった。新しいクラスもいいクラスにしよう！ きっといいクラスにできるよ！」と答えるのではないのでしょうか。その逆は…「最低のクラスだった。いやなやつばかりだった…」と、こんな感じでしょうか…でもこの人は、1年後にも同じように、「前のクラスは最低で…」と語るのではないのでしょうか。

皆さん、協力して仲良く、さらに楽しいクラス、学校にしていきましょう。皆さんひとりひとりに秘められた素晴らしい能力は、「知・好・楽」…楽しみながら取り組む中で、大きく開花するようにできているのです。抑圧、強制、憎しみ合いの環境下では、大きな成長はないのです。ノミの話も覚えていますか…？ 蓋をされたら、また自分で限界を設定してしまうと、本来のジャンプ力を忘れてしまいましたね。

人間社会、人間関係こそ財産です。とりわけ、中学生・高校生時代の「友」は、生涯の「友」となります。同じ時代に同じこの国で、同じ芦屋国際中等教育学校で出会う確率は、まさに奇跡的な確率です。この深い「ご縁」を大切に、一人でも多くの生涯の「友」をつくってください。

そのためには、まずは挨拶、笑顔、クイックスマイルを忘れないでください。挨拶をした数だけ、笑顔の数だけ自らの「魂」が高まり、人間力が向上することも知っておいてください。「福の神」は笑顔が大好きです。

それでは、楽しく、充実した1学期となりますことを願い、以上、令和6年度1学期始業式の「式辞」とします。

令和6年4月8日

兵庫県立芦屋国際中等教育学校 校長 川崎 芳徳